

優秀賞 えがおあふれる緑園のまち

三年 鈴木紗良

私が三年生で地いきの方にお世話になったことはたくさん

あります。その中で、もとも心に残ったことは「子ども見守りプロジェクト」です。子ども見守りプロジェクトとは、私たち三年生が二週間ぐらい花をそだてて、それを地いきの方にくぼり、そして朝私たちが登校する時に、せわや水やりをして、私たちを見守ってくれるという緑園のすてきな活劇です。十一月十五日、最後の「子ども見守りプロジェクト」をしました。はせ川さんやこじまさん、地いきの方たちが、三年生みんなにやさしく声をかけて教えてくれました。

私は、この花をそだてる時、地いきの方が、

「花は人間の気もちが分かるんだよ。」

と聞いていたので「大きくなりますように」とねがったり「がんばってね。」など声をかけながら大切にそだてました。この後、三年生みんなが気もちをこめてそだてた花が、元気よくさいているところを見れたらうれしいです。

私がこのまちのためにできることは、ふだん見守ってくれている青パトのみなさん、それから東花会のみなさんにあった時、明るく自分からあいさつをすることです。

ふだんこうして見守ってくれている人たちがいるから安全です。ごしやすいまちだと、私はそう思います。私も協力してあいさつをし、もつとすてきなえがおあふれる緑園のまちになっていく

といいなと思います。

優秀賞 これからもずっと見守ってね

三年 彦坂桜音

わたしは、学校のアイビーのじゅぎょうの花プロジェクトでビオラの花を育てました。

花プロジェクトでは、お花を育てて地いきの方にプレゼントします。そして、地いきの方がお花を育てながらわたしたちの登校や下校を見守ってもらおうということをします。

わたしは、地いきの方によるこんでもらえるお花になるようにいっしょうけんめいお花を育てました。たとえばさいしよは、お花を一本だけのこしてほかのお花はぜんぶ切ってしまうしました。わたしは、きれいにさいているお花を切ってしまうのは少し悲しい気持ちでした。でもそれは、のこしておいたつぼみにたくさんえいようが行くようにするためだったので、切ってよかったです。なと思いました。

ほかに、毎日いっしょうけんめい水をあげたり話しかけたり、かかれているお花があったら切ったりなどと、いろいろな事をしました。それをつづけているうちに地いきの方にお花をわたす日がやってきました。わたしは、はじめずっと育ててきたお花をわたすのがとてもいやでした。でも、お花をわたすことよってわたしたちの事をもっと見守ってもらえるという事を思うとわたす

のがとてもうれしくなりました。お花をもらったおじさんは、ニコニコわらってくれたのもっとうれしくなりました。そして、お花を育ててよかったなと思いました。

わたしは、登校下校でビオラの花を見つけるとちゃんとして育ててくれているんだなと心があたたまります。いつも見守ってくれている地いきの方を感じやしなながらも、これからはずっと見守ってもらいたいです。

入選 いいことがたくさん、緑園の町

三年 竹内 克

ぼくは、あらためて緑園の町はいいなと思いました。

この前、ぼくはベンチにうわぎをおいて遊んでいました。

しかし、もどるとベンチにうわぎはありませんでした。コミュニティセンターに行くと落とし物がとどいていないか聞いてみると、すでにとどいていました。だれかがとどけてくれたおかげで、うわぎはもちかえることができました。コミュニティセンターのおじさんは、わたすときに、えがおでわたしてくれました。その時は、とても安心しました。ぼくは、いまでも、とどけてくれた人、おじさんにかんしゃしています。ぼくは、緑園のいいところがずっとつづくように、そして、さらに町がよくなるために落とし物があつたらすぐひろい、とどけたいです。なくした物がすぐかえってくるすてきな町を、ずっとつづけていきたいです。

もう一つ、ぼくがよいと感じているところがあります。緑園の町では、ときどきおまつりをやります。その活動が、ぼくはいいと感じました。おまつりはさんかすると楽しいし、店を出す人なども交流できるので、ずっとこの活動をつづけてほしいと思います。ぼくは、これからできるだけおまつりにさんかします。

また、ぼくが一番楽しみにしている行事は、マラソン大会です。この行事は、他の学校の人や野球チームの人たちもさんかするので、交流することができます。ぼくは走るのがすきなので、毎年さんかしています。ぼくは、できるかぎり毎年さんかして、マラソン大会のような町の楽しい行事をずっとつづけていきたいです。

入選 安心、安全な楽しいまち

三年 三箇山 結

わたしは、子ども見まもりプロジェクトがたのしかったです。子ども見まもりプロジェクトとは、花プロともいいます。春と秋にやります。二週間ぐらいそだてて、ちいきの代表の人にわたして、ちいきのみんなにわたします。毎日、あさに水をやつて学校に登校する子どもたちを見まもる活動です。春には、ペチュニアをそだててわたしました。秋には、ビオラをそだてて、わたしました。

わたしが、一番そだて方がむずかしかったのは、秋にそだてた

ビオラです。花プロをやっている人に、

「このビオラは花がたくさんさいています。花を一つにしてください」

といわれて、むずかしそうだし、花をきると花がかわいそうだなと思いました。でも、花プロの人が、

「花を切って、一つにしたほうが花が元気にいっぱいさいてくれるよ。」

といってほっとしました。花をきってみるといがいとかんたんで楽しかったです。あと、そだてているときに、かれてしまいそうになってしまった花もありました。でも、水やりをしたり、せわをしたりして、さいごはきれいな花をさかせて、わたすことができました。わたしは、これからも花プロをつづけていってほしいと思います。花をたいせつにしなから子どもをみまもってほしいと思います。